

■嘉悦孝 女子の実学教育をめざして、商業学校を設立、発展させた、吉岡弥生・下田歌子らと並ぶ女子教育の先駆者。

かえつたか

大政奉還・・・1867＝ 肥後国熊本で、細川藩名家で横井小楠門下の四天王政治家嘉悦氏房の長女に生まれる。幼名鷹。

明治維新・・・1868＝ 1歳：

版籍奉還・・・1869＝ 2歳：この年、父が上京して新政府に出仕し、

諸職を転変後、

廃藩置県・・・1871＝ 4歳：熊本・八代・白川県権参事歴任中、県令の圧政に憤り致仕。

この間、氏房を育てた母で熊本実学連“三婆さん”の勢代に薫育され、

明治6年政変 1873＝ 6歳：

佐賀の乱・・・1874＝ 7歳：小楠門下竹崎茶堂の塾日新堂の幼稚舎(のち本山小学校)に入り、

初の民間工場 1875＝ 8歳：教科書の話に感銘し、父に願ひ出て名を孝と改める。

三つの内乱・1876＝ 9歳：祖母勢代が死去。

西南戦争・・・1877＝10歳：師範学校の競技会で1等賞を独占するほど算術が得意で、退学し、父が開いた広取塾で聴講するうち、

大久保暗殺・1878＝11歳：親孝行しようと、父が興したが厳しい状態にあった緑川製糸工場の女工となる。

沖繩県編入・1879＝12歳：この年、父が不知火紅茶会社を興し社長となり、商法物産会議所創設の発起人となる。

・・・1880＝13歳：この年から、父は県会議長。

明治14年政変 1881＝14歳：

女工たちの指導者で作業監督の徳富音羽(蘇峰の姉)に出会い刺激されてますます勉学に励むも、

岩倉具視没・1883＝16歳：工場が倒産。東京帝国大学の学業を中止・帰郷して私塾を開いた兄について学ぶうち、**熊本に遊説に来た著名な女流政客中島湘煙(岸田俊子)の演説を聞いて強い衝撃を受け、**

内閣発足・・・1885＝18歳：

国民之友始・1887＝20歳：父が九州鉄道会社創立に参画して家計が回復し、**許されて上京。早速、経済の重要性を知る。**

初の対等条約 1888＝21歳：**駿河台の成立学舎女子部に本科2年に編入学。教師棚橋絢子らの影響を受け、猛勉強の末、**

帝国憲法發布 1889＝22歳：**第一回本科卒業生総代となり、全校生を驚かせる。さらに高等科に入学、本科助教を嘱託され、夜は高等業学校の教授に簿記学を学ぶ。**

足尾鉍毒始・1891＝24歳：**高等科卒業、本科の教師を1年務め、**

大本教・・・1892＝25歳：**懇請されて熊本県宇土町の鶴城学館の教師となり帰郷すると、町の話題を独占、**

郡司千島探検 1893＝26歳：この年、父が衆議院議員に当選するも、議会展散となり、

日清戦争始・1894＝27歳：次の選挙で落選。

松隈内閣・・・1896＝29歳：辞職して再び上京し、父母弟妹らの住む新居に帰る。

八幡製鉄始・1897＝30歳：女紅学校に勤め、教育おろそかな校風の改革に努めるも、

帝国議会始・1890＝33歳：解散となる。生徒も引取るという条件で**吉村寅太郎が創立した成女学校に舎監として迎えられ、**

教育経営者としての経験を積むうち、“実学教育”を実現したいとの思いが募り、

日比谷公園・1903＝36歳：***辞職。小田綱次郎らと図り、神田錦町にある東京商業学校の校舎を借りて、和田垣謙三を校長に、私立女子商業学校を創立。**

日露戦争終・1905＝38歳：

仮校舎のまま資金的にも行き詰まりそうになった矢先、株で大儲けした人から資金提供の申し出を受け、後藤新平の斡旋で土地も取得、

韓国反日暴動 1907＝40歳：土手三番町に独立校舎を建て、**日本女子商業学校(嘉悦女子高校)と改称する。**

アヲキ創刊・1908＝41歳：父が脳溢血で倒れ死去。

当初は生徒も集まらず、校舎はがら空きの状態であったが、揺るがないで経営するうち、

やがて、全国から生徒が入学して来るようになったが、なお満足せず、

明治天皇没・1912＝45歳：

第一次大戦始 1914＝47歳：欧米の話聞いて、街頭で花を売って利益を社会事業に寄付する{花の日会}を始め、

民本主義・・・1916＝49歳：水害を受けた東京下町住民や、

ロシア革命・1917＝50歳：翌年にかけての物価騰貴に、窮民のための切符制度を考える。

第一次大戦終 1918＝51歳：翌年にかけて大流行したインフルエンザ患者、

ベルサイユ条約・1919＝52歳：**和田垣謙三が死去し、名実ともに校長となる。**

この間も、生徒数は増加の一途をたどり、

原敬首相暗殺 1921＝54歳：

水平社結成・1922＝55歳：増築新校舎完成。

関東大震災・1923＝56歳：関東大震災罹災者たちに、資金を送っただけでなく、率先して奉仕活動。

この間、愛国婦人会評議員・東京連合婦人会委員・東洋婦人教育会評議員・家庭勤労婦人共済会理事・東亜婦人会顧問・人事調停委員などの多数の役職につく。

共産党事件・1928＝61歳：母が死去。

世界恐慌・・・1929＝62歳：***財団法人日本女子高等商業学校(日本女子経済短期大学)に発展させ、理事長兼校長となる。全国実業専門学校校長会議に唯一の女子学校かつ女性校長として出席し、天皇に拝謁。**

海軍軍縮条約 1930＝63歳：

満州事変・・・1931＝64歳：

五一五事件・1932＝65歳：再び校舎が手狭となったため、旧陸軍軍医学校跡地を建物ごと借用し移転。

国際連盟脱退 1933＝66歳：在学生の努力で、**卒業生の実業教員無試験検定を認可され、経理士無試験登録の栄典を得る。**

芥川直木賞始 1935＝68歳：大蔵省から借用していた土地・建物の払下げを受ける。

日中戦争始・1937＝70歳：

戦局が進むなか、

第二次大戦始 1939＝72歳：

大政翼賛会・1940＝73歳：教壇生活50周年祝賀会が盛大に開催される。

日米開戦・・・1941＝74歳：***大掃除中に転倒強打して意識不明の重体となる。**

近代の超克・1942＝75歳：**社会復帰するも、衰えが目立ち始め、転居。**

敗戦・・・1945＝78歳：**東京大空襲で、居宅はもちろん関係するほとんどの建物を焼失するも、命は無事だったが、女子教育者としての活動は終焉、多くの人たちが学園再建に取り組むのを眺めながら、**

新憲法公布・1946＝79歳：校舎内の一室に居を移し、

極東裁判決・1948＝81歳：

三大事件・・・1949＝82歳：**没した。**

没後、勲四等瑞宝章が贈られた。

「日本の女性」、インターネット「嘉悦大学」ホームページほか、